

【教育委員会議事録】平成29年6月定例会

開催日時	平成29年6月29日(木) 14:00~15:30
開催場所	下関市教育センター 3階中研修室
出席委員の氏名	波佐間 清(教育長) 藤井 悦子(教育長職務代理者) 児玉 典彦 林 俊作 松田 まさ子
欠席委員の氏名	欠席なし
委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名	教育部長 萬松 佳行 教育部次長 伊藤 信彦 教育部次長 井上 成人 教育政策課長 三好 洋一 学校教育課長 木下 満明 教育研修課長 三井 清 学校支援課長 宇都宮 義弘 学校保健給食課長 伊藤部次長事務取扱 教育指導監(生徒指導推進室長) 瀬下 信二 生涯学習課長 古西 修一 文化財保護課長 沖吉 洋一郎 図書館政策課 高森 俊明 美術館主査 岡本 正康 歴史博物館長 町田 一仁 土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム館長 吉留 徹 下関商業高等学校事務長 富田 智雄 菊川教育支所長 林 文男 豊田教育支所長補佐 胡摩田 裕之 豊浦教育支所長 戸田 一仁 豊北教育支所長 西村 敬教 教育政策課主幹 光吉 計志 教育政策課主査 岡本 誠也 教育政策課主任 松富 潤
傍聴人の数	1人

次第（目次）

【開会の宣告】	……………	P 3
【署名委員の指名】	……………	P 3
【教育長報告】	……………	P 3
【議案審議】		
第 3 1 号 平成 2 9 年度教育予算の補正（6 月）について	……………	P 5
第 3 2 号 下関市いじめ重大事態調査委員会委員の委嘱について	……………	P 6
第 3 3 号 下関市立歴史博物館協議会委員の解嘱及び委嘱について	……………	P 7
第 3 4 号 下関市立考古博物館協議会委員の委嘱について	……………	P 8
第 3 5 号 教育委員会及び教育機関の職員の任免について	……………	P 19
【専決報告】		
下関市立図書館運営協議会委員の解嘱及び委嘱について	……………	P 9
下関市社会教育委員の解嘱及び委嘱について	……………	P 9
【報告事項】		
平成 2 9 年度こども文化パスポート事業について	……………	P 10
下関市青少年補導委員の委嘱について	……………	P 12
下関市生涯学習プラザの臨時休館について	……………	P 13
下関市産の国内初の種類の恐竜卵化石について（国内で最初の発見となる恐竜化石）	……………	P 14
下関市立図書館における Wi-Fi 設備及び情報検索機器の提供開始について	……………	P 16
特別展「ロシア科学アカデミー—図書館所蔵 川原慶賀の植物図譜—シーボルトの見た日本」展の開催について	……………	P 16
企画展「シーボルトと下関—日蘭交流の軌跡」の開催について	……………	P 17
【その他】	……………	P 18
【閉会の宣告】	……………	P 19

【開会の宣告】

波佐間清(教育長)

皆さんこんにちは。それでは教育委員会 6 月定例会を開催いたします。

【署名委員の指名】

波佐間清(教育長)

本日の議事録の署名は「藤井委員」「児玉委員」をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

本日の日程は、日程 1 の議案が追加 1 件と合わせて 5 件、日程 2 の専決の報告が追加 1 件と合わせて 2 件、日程 3 の報告事項が 7 件、日程 4 その他となっております。この日程に関連して、最初に委員の皆さんにお諮りをしたいと思います。「議案第 35 号 教育委員会及び教育機関の職員の任免について」は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 14 条第 7 項の規定により会議を公開しないことといたしたいと思います。委員の皆さんよろしいでしょうか。

(はい)

波佐間清(教育長)

ありがとうございます。それでは、当該議案は非公開とし、議事録についても非公開といたしたいと存じますが委員の皆様よろしいでしょうか。

(はい)

波佐間清(教育長)

また、非公開とすることといたしました議案は、日程 4 その他が終わった後に審議を行うことといたしたいと存じますが、委員の皆さんよろしいでしょうか。

(はい)

波佐間清(教育長)

それでは、そのように進めてまいります。傍聴者の皆様方には、当該議案審議の際にはご退出いただくこととなりますが、あらかじめご了承ください。よろしくお願いいたします。

【教育長報告】

波佐間清(教育長)

それでは、議案第 31 号の審議に入る前に、教育長報告を行います。お手元の資料を開けていただきましたら、2 ページのところにレジユメをつくっております。

先日、5 月 30 日に下関北ロータリークラブの例会で卓話を行いました。シーモールパレスにて、演題としては「世界へはばたけ！！下関の教育」。昨年度 1 年間の海外派遣で、米国・フィンランド・トルコに行きましたので、少しその国の教育について話しました。こちらの方は 30 分という時間だったので、主な紹介に徹してしまい、ゆっくりとお話できませんでした。その分、資料の一番下のところにある、山口県教育会「下関支部のつどい」というところで、ここは 1 時間半ありましたので、同じ演題で、川中公民館にて、ゆっくりとそれぞれの国の特色について、特に米国派遣については、中学生がホームステイをしていますので、そのあたりの感想も含めてお話をいたしました。

今日、たまたまですが、山の田小学校の校長先生が、私が講演をした際の感想を記した、自分の校長日より「心に愛情の貯金を」を職員に配ったとのことでした。ここにお茶の絵やら剣道、習字の絵が少しありますが、教育長が世界へ色々行ったということの中で、教育長がこういうふうに言われたと。「日本が 1 番いい。今、外国の人たちが盛んに日本文化について触れ、感銘を受

けて来日している。その姿から私たち日本人は日本のよさを再発見し学んでいる。今こそ、もう一度日本の伝統文化をしっかりと勉強すべきである。武道、華道、書道、茶道、邦楽と。そして、この中の1つでも自分のものにするのと誇りを持つようになると言われてきました」というようなことが書いてありました。山の田小学校の校長先生は、彼自身もスポーツ少年団の剣道を指導しながら、一般の方々と剣道をしています。「教育長さんが言われたように、1つでもものにするようにできるように継続して学んでいきたいと思います」というようなことを感想で書いておられました。児玉委員も当日来ておられましたので、また感想がありましたら言っていただければと思います。

それでは、上から2番目でございますが、6月1日に地域の中高連携の教育研修会懇談会がございました。研修会は教育センターで14時から16時半まで、懇談会はグランドホテルの方でございました。中高の校長先生方が集まって、全員が集まって協議をするということ、これも大変意義あることで、特に中学校の校長先生方は高校の校長先生の顔と名前が一致をし、入試へ向けて色々電話連絡等もすることもあるかと思いますが、そういう意味での交流ができたことを大変喜んでおられました。この中には、小学校の校長会長、副会長も参加をしているので、実質、小・中・高の連携をとということでこの会は進んでおります。

次に6月2日は下関市薬物対策協議会の総会及び研修会が本庁の方でございました。薬物対策ということで、その次のところの『ダメ。ゼッタイ。』普及運動6.26ヤング街頭キャンペーン」と連動して、薬物対策協議会の方が街頭キャンペーンを中高生を含めて、ゆめシティで行いました。私も参加をさせていただいたわけですが、中高生の時から薬物に手をつけない、そういう意識を醸成するためにもこういう運動というのは大事なかなと。当日はテレビカメラも来ておりましたので、そういう意味でアピールができたのかなと。それと募金活動もあわせてやっております。

次に社明運動推進委員会。社会を明るくする運動の略であります。社会福祉センターにおいてこれの会議が行われました。

それからよい歯のコンクール下関地区大会表彰式ということで6月18日に勝山公民館において行いました。よい歯のコンクール親子賞とそれから藤井委員のご主人である藤井会長さんにお越しをいただき、ありがとうございました。子供達のよい歯のコンクールということで、習字や標語等も表彰をしたところであります。

6月28日は、昨日でしたが下関地区の高等学校定時制通信制教育振興総会がこの教育センターでありました。例年の総会ではありますが、市長をはじめ各文教厚生委員会の委員さんたちにも参加をさせていただいて総会が行われました。定時制、通信制の学校で頑張っている生徒達を応援していこうということであります。

さて、6月8日から28日まで市議会がありまして、文教厚生委員会の方で審査を受けたのが「議案第80号 一般会計・補正予算」であります。報告事項がその3件であります。また、一般質問で6月21日から27日までということで、主な質問事項の項目をそこに挙げております。「四建ドックについて」、「働き方改革について」、「小中学校の耐震化について」、「図書館について」、「小中学校のトイレの洋式化について」、「教育環境の充実について」、「交流人口を増やす取り組みについて」、「図書館政策について」、「『過労死等防止対策推進法』に基づく本市の取り組み状況について」であります。こういう中で、それぞれ議員の皆さんが質問をされ、教育委員会としてお答えをしたところであります。以上が、私の報告であります。委員の皆さんで何かご質問なりありましたらお願いをしたいと思います。よろしいでしょうか。

(はい)

波佐間清(教育長)

それではないようですので次に入りたいと思います。

【議案審議】

議案第31号 平成29年度教育予算の補正(6月)について

波佐間清(教育長)

日程1議案審議に入ります。「議案第31号 平成29年度教育予算の補正(6月)について」をお願いいたします。はい、萬松部長。

萬松佳行(教育部長)

それでは「議案第31号 平成29年度教育予算の補正(6月)について」ご説明いたします。資料の方では4ページから6ページになっておりますが、A3横のカラー版をお配りしておりますので、そちらの方をご覧いただければと思います。補正予算の内容につきましては、史跡前田砲台跡の保存整備事業でございます。この事業では今年度内に文化庁の補助金を活用いたしまして、砲台の当時の様子をスマートフォンなどを使ってバーチャルリアリティーコンテンツで再現を行う予定でございます。6月補正予算では賃借によりまして普通車10台、それから大型車2台、計12台の駐車スペースを確保いたします。来訪者の方がスムーズに史跡の方にアクセスできる体制を整えるものでございます。このA3横の資料につきましては事業概要について担当の文化財保護課長よりご説明をさせていただきます。

波佐間清(教育長)

それでは、文化財保護課。

沖吉洋一郎(文化財保護課長)

文化財保護課でございます。それでは「議案第31号 平成29年度教育予算の補正について」ご説明いたします。6月補正予算の151万2,000円はすべて文化財保護課所管の史跡前田砲台跡整備事業に関わるものでございます。先ほど、部長が説明いたしましたA3のカラー刷りの資料をご覧いただきたいんですけども、平成27年に明治日本の産業革命遺産が世界遺産として登録されまして、内閣官房は世界遺産の23構成資産だけではなく、前田砲台跡を含む4関連資産も一体的に情報を発信及び活用していくことを決定いたしまして、本市も内閣官房の強い要請により世界遺産ルート推進協議会に参加しております。この協議会では構成資産だけではなく、前田砲台跡を含む4関連資産の周遊を促すルートを記載したガイドマップを多言語で作成しております。また、平成29年度から空港、鉄道駅、港、高速道路や道の駅等に広範囲に配置しております。また、産業遺産の歴史や特性を、動画やクイズで楽しみながら学ぶスマートフォン向けアプリ等を作成いたしまして、平成29年度から国内外の観光客等を世界遺産に誘致するための積極的な情報発信が本格化しております。前田砲台跡は平成22年に国史跡として指定されましたけれども、史跡本来の整備が一向に進まない中でこのたび認定されました日本遺産の主要な構成文化財でもあることを踏まえまして、文化庁の100%補助事業である「日本遺産魅力発信推進事業」を活用して砲台を設置している当時の様子や、周辺のパノラマ画像、CG、アニメーションを活用した現在と幕末の比較を行うVRコンテンツを活用して再現し、来訪者に楽しんでいただく事業を想定しております。この事業の成果目標としては、平成34年度における来訪者数を同様の取り組みを行います門司の赤煉瓦プレイスとの合計で約6万人を想定しております。以上、ご説明いたしましたように、前田砲台跡は世界遺産の関連資産や日本遺産の主要な構成文化財であり、多くの来訪者に楽しんでいただくため、6月補正予算において周辺環境整備として民間所有地を活用して、普通車10台、大型車2台の必要最小限度の駐車場を確保いたしました。資料の左側、中段の地図をご覧いただきたいんですけども、駐車場の予定場所は右上に薄い赤色で表示いたしました史跡指定地の国道を挟んで反対側の、濃い赤色で表示しております暫定駐車場予定地としている部分で、この部分全体面積は2,002.31平米でございますけれども、この1部を賃借により確保するもので、経費は151万2,000円でございます。以上でございます。よろしくご審議をお願いいたします。

波佐間清(教育長)

はい。ただいま説明がございましたが、ご質問、ご意見等がありましたらお願いをいたします。
はい、林委員。

林俊作(教育委員)

駐車場を借りたということは、今年だけじゃなくて来年以降もずっと、これが8カ月間が12カ月になって借り続けるという、そういう意味合いでいいですか。

波佐間清(教育長)

はい、課長。

沖吉洋一郎(文化財保護課長)

当面、今年度から借りるようにしてしますので、8カ月ということになってますけれども、当然、来年度以降も借りる予定を前提としておりまして、利用状況を踏まえてさらに面積を拡大していくとかそういうふうなことも考えていきたいと考えております。

林俊作(教育委員)

周りにまだ土地はあるのはあるのですか。

沖吉洋一郎(文化財保護課長)

ここに2,002.31㎡ってありますけれども、このほんの1部分だけを当面使うという事でございます。

林俊作(教育委員)

わかりました。たくさん来てもらえると、それだけ余分にお金がかかるけどいいという事です
ね。わかりました。

波佐間清(教育長)

今の位置の一部を借りて12台分ということで、当面という表現は、利用者が多いようであれば、今後それを増やしていくという状況であります。ほかにご質問はありませんか。いかがでしょうか。よろしいですか。

(はい)

波佐間清(教育長)

それではないようですので、議案第31号について承認としてよろしいですか。

(はい)

波佐間清(教育長)

それでは、承認といたします。

【議案審議】

議案第32号 下関市いじめ重大事態調査委員会委員の委嘱について

波佐間清(教育長)

続きまして「議案第32号 下関市いじめ重大事態調査委員会委員の委嘱について」をお願いをいたします。学校教育課生徒指導推進室。

瀬下信二(生徒指導推進室)

それでは「議案第32号 下関市いじめ重大事態調査委員会委員の委嘱について」ご説明いたします。資料は7ページになります。まず下関市いじめ重大事態調査委員会について確認させていただきます。平成27年4月1日から施行の下関市附属機関設置条例の一部を改正する条例で本委員会が設置され、下関市いじめ重大事態調査委員会規則を教育委員会規則第9号として定めいただきました。この規則第3条の規定に基づき、各専門領域の機関に委員の推薦を依頼し、ご推薦いただいた方を委員として委嘱していただきたくここに提案するものです。委嘱予定の委員について簡単にご説明いたします。5名の委員は昨年度と同じですが、法曹関係として下関市顧問弁護士の中谷正行様にご推薦いただいたみつ法律事務所の弁護士 三井隆広様、医療関係者として下関市医師会からご推薦いただいた長門一の宮病院精神科 横地光子様、学識経験者として梅光学院大学からご推薦いただいた梅光学院大学子ども学部教授 赤堀方哉様、心理関係者として山口県臨床心理士会からご推薦いただいた山口県臨床心理士会臨床心理士 小川昭様、学校関係者として下関市PTA連合会からご推薦いただいた下関市PTA連合会会長 佐々木猛様、以上の5名でございます。なお、任期は平成29年7月1日から平成30年6月30日の1年間となっております。ご審議のほどよろしくお願いたします。

波佐間清(教育長)

はい。ただいま、議案第32号の説明がございました。委員の皆様方、何かご意見がありましたらお願いをいたします。よろしいですか。

(はい)

波佐間清(教育長)

それでは、いじめ重大事態調査委員会の委員の委嘱について承認としてよろしいでしょうか。

(はい)

波佐間清(教育長)

それでは委員については承認といたします。

【議案審議】

議案第33号 下関市立歴史博物館協議会委員の解嘱及び委嘱について

波佐間清 (教育長)

次に、「議案第33号 下関市立歴史博物館協議会委員の解嘱及び委嘱について」お願いをいたします。歴史博物館館長。

町田一仁(歴史博物館長)

歴史博物館でございます。下関市立歴史博物館協議会委員の解嘱及び委嘱についてご説明させていただきます。博物館法第21条および下関市立歴史博物館設置等に関する条例第12条の規定に基づきまして、下関市立歴史博物館協議会委員を解嘱し、また委嘱するものでございます。大変申し訳ございません、第12条の後の規定の「定」が「程度」の「程」になっておりますが、「定める」の「定」にお改めいただければと思います。よろしくお願いたします。まず解嘱及び委嘱者でございます。解嘱者は、藤井俊亮さん、齋藤教津さん、内野和子さんでございます。新たに委嘱いたします方は、高山章さん、岡崎茂邦さん、上野幸子さんでございます。委嘱期間は解嘱者の在任期間であります平成29年6月29日から平成31年2月20日まででございます。提案理由は下関市教育研究会小学校社会科部会長、下関市教育研究会中学校社会科部会長及び長府婦人会、この後も大変申し訳ございません、長府婦人会の後に「長」を入れていただけたら幸いです。長府婦人会長の改選に伴い、委員の解嘱及び後任委員の委嘱をするものでございます。

具体的に申し上げますと、生野小学校校長で小学校社会科部会の部会長でございました藤井俊亮様が、このたびの人事異動で県教委に転出されたこと。それから、中学校社会科部会の部会長でございました齋藤教津様が定年退職なされたこと。それから長府婦人会の会長でございました内野和子様が、3月にお亡くなりになられたということで、その後各役員の改選がございまして、小学校社会科部会の部会長になりました。高山章さま、それから中学校社会科部会の部会長になりました岡崎茂邦様、そして長府婦人会長にご就任なさいました上野幸子様新しく協議会委員をお願いするものでございます。以上でございます。

波佐間清(教育長)

ただいま説明がございました。解嘱、委嘱等については今のところですが、10ページのところに全体の名簿が載っております。新規と書いてあるところが今の3名の方々であります。これについて何かご意見、ご質問がありましたら、お願いいたします。特によろしゅうございますか。

(はい)

波佐間清(教育長)

はい。それでは、議案第33号については承認としてよろしいでしょうか。

(はい)

波佐間清(教育長)

それでは承認といたします。

【議案審議】

議案第34号 下関市立考古博物館協議会委員の委嘱について

波佐間清(教育長)

続きまして、「議案第34号 下関市立考古博物館協議会委員の委嘱について」お願いをいたします。文化財保護課長。

沖吉洋一郎(文化財保護課長)

文化財保護課でございます。それでは「議案第34号 下関市立考古博物館協議会委員の委嘱について」ご説明いたします。11ページをお願いいたします。下関市立考古博物館の運営についてご意見をいただくため、博物館に下関市立考古博物館協議会を設置しております。12ページをご覧ください。協議会委員候補者名簿を掲載しており、字が大変小さくて恐縮でございますけれども、この名簿の左端の欄に区分がございまして、協議会は学識経験者、社会教育及び学校教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う方に委員をお願いしております。下関市立考古博物館の設置等に関する条例におきまして、協議会は10名以内で組織し委員の任期は2年と定めております。このたび平成29年7月31日をもって現在の委員の任期が満了するため、新たに平成29年8月1日から平成31年7月31日までを任期とする委員を委嘱しようとするものでございます。現在は9名の委員でございますけれども、社会教育関係者である清永只夫委員につきましてはご高齢と健康面の理由から委員を辞退したい旨の意思表示があり、近藤洋平様を新任委員とさせていただきます。また、学校教育関係者は下関市教育研究会の小学校社会科部会及び中学校社会科部会の部長をお願いしておりますけれども、先ほど歴史博物館でもございましたように退職及び異動により変更がございましたので、後任の高山章様及び岡崎茂邦様に新任として委員就任を要請しております。それ以外の6名の方につきましては、再任につきましてご内諾をいただきましたので、下関市立考古博物館協議会委員として委嘱したいと考えております。以上でございます。よろしくご審議をお願いいたします。

波佐間清(教育長)

ただいま説明がございましたが、委員の皆さんの方でご意見、ご質問がありましたらお願いをいたします。よろしいですか。

(はい)

波佐間清(教育長)

それではないようですので議案第34号については承認としてよろしいでしょうか。

(はい)

波佐間清(教育長)

それでは、承認といたします。

次の議案第35号は、先ほど申しあげましたように、最後の方に回させていただきます。

【専決事項】

下関市立図書館運営協議会委員の解嘱及び委嘱について

波佐間清（教育長）

それでは、日程2専決の報告ということで、「下関市立図書館運営協議会委員の解嘱及び委嘱について」お願いをいたします。図書館政策課。

高森俊明(図書館政策課長)

図書館政策課でございます。よろしくお願ひいたします。下関市立図書館運営協議会委員の解嘱および委嘱につきましてご報告いたします。運営協議会委員のうち、運営協議会規則第2条第4号委員、教育関係者委員のうち下関市立中学校学校図書館部長の職であられた戸田委員がこのたびの異動で学校図書館部長を交代されました。それに伴いまして、戸田委員を29年5月31日付で解嘱、新たに学校図書館部会長になられた内田委員を29年6月1日付で委嘱させていただいたものでございます。任期につきましては前任者の残りの期間、平成29年6月1日から平成30年6月30日までとなっております。以上でございます。

波佐間清(教育長)

はい。報告がございましたが、何かご意見がありましたらお願いをいたします。よろしいですか。

(はい)

波佐間清(教育長)

特にないようですので本件については報告済みといたします。

【専決事項】

下関市社会教育委員の解職及び委嘱について

波佐間清（教育長）

次に「下関市社会教育委員の解職及び委嘱について」お願いをいたします。生涯学習課長。

古西修一(生涯学習課長)

生涯学習課です。よろしくお願ひします。資料の14ページをお願いします。専決の報告「下関市社会教育委員の解職及び委嘱について」ご説明いたします。社会教育法第15条及び下関市

社会教育委員会条例第2条の規定に基づき、下関市社会教育委員20名を委嘱しております。このたび山口県教育会下関支部の役員改選により、支部長であった富田忠夫委員を6月23日付けで解嘱し、新たに支部長となった藤永悦郎氏を6月24日付けで、社会教育委員に委嘱しました。任期は前任者の残任期間の29年6月24日から31年5月31日までとなります。以上ご報告いたします。

波佐間清(教育長)

ただいま報告がございました。この件についてご意見ありましたらお願いいたします。よろしいですか。

(はい)

波佐間清(教育長)

それでは本件につきましては報告済みといたします。

【報告事項】

平成29年度子ども文化パスポート事業について

波佐間清(教育長)

それでは「平成29年度子ども文化パスポート事業について」お願いをいたします。教育政策課長。

三好洋一(教育政策課長)

それでは、「平成29年度子ども文化パスポート事業について」ご報告をいたします。報告に先立ちましてすみません、資料の目次のところをご覧くださいませ。報告事項のトップなんですけれど、平成29年度の「年」が抜けております。大変申し訳ありません。訂正させていただきたいと思います。では、その中の資料の15ページとなります。お願いいたします。この「子ども文化パスポート事業」でございますけれども、ここにありますように子供達が地域の文化・歴史・自然に接することにより豊かな心をはぐくむとともに、親子のふれあう機会を増やすことを目的として、下記のとおり様々な文化施設をはじめとする施設に無料または一部割引で入場できる、そういった特典を受けられる、そういったパスポートを子供達に配布するものでございます。これは平成17年度から関門連携の一環として、北九州市と共同実施をしてまいりました。今年度で13回目となります。また平成19年度からは長門市、そして、平成24年度からは中間市や芦屋町など北九州都市圏域の市町で組織されます北九州都市圏広域行政推進協議会、こちらのご参加をいただいております、現在4団体での実施となっております。2の事業概要をご覧ください。内容としては基本的にはこれまでと同様なのですが、対象エリア、そして対象者、そして配布方法これらについては変更ございません。実施期間につきましても、概ね夏休みを基準とし、7月21日から8月31日までの42日間としております。子供達にとって地域の文化・歴史などに触れさせる機会を増加させ、より魅力ある事業をするために、昨年度なんですけれども、全体事業費を増額いたしました。そして、それに基づき、事業の充実を図ったところです。この結果、パスポートの利用者も増加に転じまして、今年度も同規模、事業全体としては400万円ですけれどもそういった内容で実施しております。で、対象施設でございます。昨年度から8施設増やしまして全84施設になりました。施設の内訳は下関市が19、北九州市が50、長門市が6、中間市が2、芦屋市が2、水巻町が1、岡垣町が3、遠賀町が1となっております。本市につきましては、今年度より新たに下関市立歴史博物館、そしてふくふく子ども館、この2施設が増えております。また、今年度は下関市立東行記念館並びに下関市立歴史博物館において新たに入場特典として期間中の先着100名様にオリジナルクリアファイルのプレゼントを新たにご協力により設けていただきました。

次に今年度の附帯イベントについてご説明いたします。お手元に今年度の文化パスポート、ご

ございますでしょうか。これをちょっとご覧いただきたいんですが、昨年度と同じく基本的には各施設回ってスタンプラリー形式で各施設を周遊していただくというコンセプトになっておりますけれども、各施設によってスタンプ数、あるいはコースの制覇ということによって応募でき、景品が抽選で当たるわけですが、それをちょっと充実させております。例えば自治体からの提供。長門市さんから今年度新たにフジミツ賞とかわくわく賞というものを、フジミツ賞の場合はですね、これは全部回った場合の話ですが、大谷山荘の宿泊券1組であったり、あと、わくわく賞、こちらについても10名の方に当たるという仕組みになっております。また、全施設制覇者に対しては「こども文化博士」としての認定証を授与するといった感じで、子供達が興味・関心を持てるように工夫をいたしております。

最後に今後のスケジュールでございます。7月の初めに各学校等へのパスポートの発送を予定しております。また、この事業の周知・広報として、まず市報の7月号にこの事業情報を掲載するとともに報道機関への投げ込み、あるいは小中学校の校長会等で協力依頼を行う予定としております。以上、簡単ではございますが、平成29年度こども文化パスポート事業についてご報告いたしました。

波佐間清(教育長)

はい。景品がまた素晴らしいものがたくさん増えました。こども文化パスポートで子供達が北九州、下関市、そのほか長門市も含めてたくさんの施設を訪問するといいなというふうにも思いました。何かご意見。はい、藤井委員。

藤井悦子(教育長職務代理者)

とても良いパスポートですが、利用できるのは、7月21日から8月31日の夏休みの期間ですね。美術館や他の施設もそうですが、それぞれの時期に於いて、様々な催しがあると思います。

春休みや冬休み、できれば年間パスポートという形で、休日にも利用できたらいいですね。

予算の関係もあり大変だとは思いますが、いろいろな形で子供達に地域の文化や歴史に触れてもらいたいと思います。頑張ってください。

波佐間清(教育長)

はい。

三好洋一(教育政策課長)

ありがとうございます。この事業そのものが先ほど申しましたように北九州市、あるいは長門市等々と共同で実施しております。また来年度の企画を考える際に、今、委員からいただいたご意見をお伝えして、また今後検討してまいりたいと思います。ありがとうございました。

波佐間清(教育長)

はい。他にご意見ございませんか。はい、林委員。

林俊作(教育委員)

中身は毎年毎年わりと充実してきて、参加施設も増えているということと、景品なんかがついてくると、子供たちにとって一番ありがたいわけですから、こういうものを重視してくるといいのではないかというふうに思いました。これは、各市町の教育委員会が集まって、どこかに委託をお願いしているのですか。どういう形で実施していますか。

三好洋一(教育政策課長)

そうですね。本市は負担金という形で北九州市の方が実施の主体となって、実際は委託という形で、この文化パスポートの企画あるいは作成をお願いしているところです。

林俊作(教育委員)

ありがとうございました。あと、景品の方は私の方にも来年度もし必要でしたら、声掛けてください。お醤油のセットでもバスカードでもだそうと思いますから。きちっとやりますので、もしよろしければ。

波佐間清(教育長)

ぜひよろしく願いいたします。他に今、長門ですごく人気が出ている元乃隅稲成神社。それはこの中には入っておりませんが、文化パスポートの目的とは違って、観光の意味の方でということでしょうかね。

三好洋一(教育政策課長)

ご指摘のとおり、基本的な考え方が文化施設等へ訪れていただきたいということで、対象施設はそういったジャンルに今のところ留まっているという状況です。

波佐間清(教育長)

ありがとうございました。ほかにご意見ありますか。はい、児玉委員。

児玉典彦(教育委員)

毎年、とても良い企画だと思っています。ただ、中学生になった時に、保護者と回るということは難しい。例えば経済的に保護者が休日も働かなければならないというようなことがあって、中学生だけで行こうといったときに、問題になるのはやっぱりバス代等の経費だと思います。できたらバス会社と提携してそういう場合には、難しいかもしれませんが、子供達だけでバスに乗ってこういうところに行けるような、そういう仕組みができると経済格差が少しでも解消されるかなと思っています。以上です。これはお願いです。

三好洋一(教育政策課長)

ありがとうございます。今後の検討の材料とさせていただきます。

波佐間清(教育長)

ありがとうございました。ほかにございますか。よろしいですか。

(はい)

波佐間清(教育長)

それではないようですのでこの件につきましては報告済みといたします。

【報告事項】

下関市青少年補導委員の委嘱について

波佐間清(教育長)

次に「下関市青少年補導委員の委嘱について」生涯学習課長、お願いいたします。

古西修一(生涯学習課長)

報告事項「下関市青少年補導委員の委嘱について」ご説明いたします。本市は問題青少年の早期発見・早期補導等の活動をするため、下関市青少年補導委員を設置しております。このたび、現在の委員の任期が29年5月31日をもって満了することから、17ページから23ページまでの名簿のとおり6月1日付けで新たに委員207名の委嘱を行ったものです。任期は29年6月1日から31年5月31日までの2年間となります。参考までに207名の内訳は、男性が170名、女性が37名。今回新たに委員になられた方は16名で、内訳が男性が13名、女性が3

名。それから平均年齢は54歳。最高齢は男性が77歳、女性が73歳で、教職員を除く最年少は男性が30歳、女性が37歳となります。以上、ご報告をいたします。

波佐間清(教育長)

ただいま説明がございましたが、この件についてご質問がありましたらお願いをいたします。はい、どうぞ。藤井委員。

藤井悦子(教育長職務代理人)

18ページの小学校関係補導員で、55番の内日小学校だけ女性の方しかいませんが、男性の方はいなかったのでしょうか。

波佐間清(教育長)

はい、課長さん。

古西修一(生涯学習課長)

特にそのあたりは校長先生から推薦があがってきますものですから、男性女性に関わらずということになります。

波佐間清(教育長)

ほかにごございますか。よろしいでしょうか。

(はい)

波佐間清(教育長)

ないようでしたら、この件については報告済みといたします。

【報告事項】

下関市生涯学習プラザの臨時休館について

波佐間清(教育長)

次に「下関市生涯学習プラザの臨時休館について」をお願いをいたします。はい、生涯学習課長。

古西修一(生涯学習課長)

資料の24ページをお願いします。報告事項「下関市生涯学習プラザの臨時休館について」ご説明いたします。29年9月29日金曜日に、中央図書館を含めた施設全体の消防用設備の点検を実施するため臨時休館することとしました。生涯学習プラザ及び中央図書館の維持管理は、指定管理者である公益財団法人 下関市文化振興財団が行っております。このたび、指定管理者からの申し出により、消防法に基づく消防用設備の点検を実施するため、火災報知器及び防火・防災用シャッターの作動試験を伴うことから、安全な点検を実施するために臨時休館が必要と判断したものです。なお、臨時休館日を9月29日金曜日とした理由は、中央図書館が設置条例に基づく定例の休館日のため、生涯学習プラザのみ臨時休館とするよう調整したものです。以上、ご報告いたします。

波佐間清(教育長)

ただいま臨時休館についての報告がございました。何かご意見がありましたらお願いいたします。よろしいですか。

(はい)

波佐間清(教育長)

はい。それではないようですので報告済みといたします。

【報告事項】

下関市産の国内初の種類の恐竜卵化石について（国内で最初の発見となる恐竜化石）

波佐間清(教育長)

次に「下関市産の国内初の種類の恐竜卵化石について」文化財保護課長、お願いいたします。

沖吉洋一郎(文化財保護課長)

文化財保護課です。「下関市産の国内初の種類の恐竜卵化石について」報告いたします。資料26ページをご覧ください。この恐竜卵化石について、6月5日に報道発表を行いましたけれども、これまで発見されている恐竜とは異なる種類の卵の化石であり、また、国内で最初の発見であることなどが特徴でございます。今回の化石は、本市綾羅木川上流域の関門層群下関亜層群という地層から発見された可能性が高く、年代的にはまだ日本が大陸と地続きであった白亜紀前期約1億2000万年前から約1億年前と推定されます。発見の経緯は、かつて本市にお住まいであった清水さんの友人が、昭和35年に綾羅木川上流域で恐竜の卵状の化石を発見し、昭和40年に清水さんと友人が採取され、清水さんは標本の写真撮影及びスケッチを残されました。清水さんは、所有していた卵の殻の破片化石8点を、平成28年の3月に、親戚のおられます美祢市教育委員会に鑑定を依頼されました。美祢市化石館は、研究面で交流があります福井県立恐竜博物館に鑑定を依頼し同博物館で調べたところ、恐竜の卵化石である可能性が出てきたため、平成28年12月に清水さんの案内で福井県立恐竜博物館、福井県立大学恐竜学研究所、美祢市化石館が現地で共同調査を行い、清水さんから発見の経緯や写真・スケッチなどの情報提供があったそうでございます。ことしの1月から4月にかけて、福井県立恐竜博物館、福井県立大学恐竜学研究所において、化石標本の組織を詳しく調べたところ、恐竜の卵であることが確認されたということでございます。今回発見された卵の化石から次のようなことがわかるということでございます。これまで福井県や兵庫県で発見されている恐竜の卵の殻の化石と比較すると、約3.7ミリとかなり厚みを持っており大型恐竜の卵の化石の可能性があること。それからこの化石の卵の殻の断面の組織は、気孔網が非常に複雑でこれまで発見されたものとは異なり、これまで日本では、未確認タイプの恐竜卵の化石であること。それから卵の殻の組織から判断すると小球恐竜状型に分類され、獣脚類のものとする卵化石と類似性が見られることという事です。この獣脚類っていうのはですね、大部分が肉食性の恐竜で二足歩行をいたしまして現在の鳥の祖先にあたるものだと思います。それからこれまでの恐竜化石の発見は昭和53年に骨格の化石が発見されたモシリユウが初めてだったんですけれども、今回の発見はそれをさかのぼる昭和40年ということで国内初の発見になるという事でございます。清水さんが残されましたスケッチから複数の卵があったことが推測されますので、恐竜の巣であった可能性もあるという事でございます。それから関門層群では複数の種類の恐竜が白亜紀前期の中国地方や北九州地方に生息していたことがわかっておりましてけれども、この発見で当時の中国地方ではある種の恐竜が産卵を含む繁殖活動を行っていたことが新たに明らかになったことだそうでございます。以上でございます。

波佐間清(教育長)

はい。ただいま説明がございましたが、皆さんの方で何かご質問がありましたら、お願いをいたします。はい、どうぞ藤井委員。

藤井悦子(教育長職務代理者)

発見された恐竜の卵の化石は、今まで未確認の種類ということで、下関に関係がある名前が付けられたらいいなと思います。

波佐間清(教育長)

はい、文化財保護課長。

沖吉洋一郎(文化財保護課長)

どういうふうな形で名前をつけるのかというのはちょっとよくわからないのですが、地名であったら大変望ましいと思うのですが、発見された方のお名前とかが使われるケースとかもあると思いますし、その辺はまだよくわかりません。

藤井悦子(教育長職務代理者)

やはり、ただの卵というよりか、何か名前がついていた方が皆さんわかりやすいし良い宣伝になるかなと思いました。

波佐間清(教育長)

ほかにご覧いませんか。今後この化石の展示については、何か計画等がありますか。はい、文化財保護課長。

沖吉洋一郎(文化財保護課長)

この資料の28ページの5の参考のところに書いてあるのですが、この化石の標本はですね、7月14日から10月15日まで福井県立恐竜博物館特別展「恐竜の卵 恐竜誕生に秘められた謎」で特別公開される予定になっております。これが終わったあとにですね、できたら考古博物館の方でそういったような資料等、あとパネルとかそういったものもお借りして展示をしたいというふうに考えております。

波佐間清(教育長)

わかりました。はい、林委員。

林俊作(教育委員)

実物の下関での展示はどうなんですか。

波佐間清(教育長)

はい、文化財保護課長。

沖吉洋一郎(文化財保護課長)

今ですね、所有権は清水さんが持っておられまして、まだ下関市の方に寄託されるとかそういうお話はいただいておりませんので、こちらの方で企画展とかをやることになったら、清水さんからご了解をいただいて福井県からこちらの方に移送して展示をさせていただくという形になります。

林俊作(教育委員)

所有権はまだ個人の方が持っているということなのですね。わかりました。

それと、もうひとつ一番初めのタイトルですね、「下関市産」っていうような表現があるのだろうか。だいたい文化財の世界ではこういう書き方をするのですか。「下関産の」っていうたら「下関産のいちご」とかそういうイメージの言葉になるかな、というふうに市の生産物みたいなイメージがあるかな、と思っていたのだけれど、下関市で発見された、という表現ではなくてだいたいこういう表現を使われるのですか。

沖吉洋一郎(文化財保護課長)

これはですね、実を言いますと6月5日に報道発表した資料を基本的に使ってございまして、文

化財保護課の方で作成した資料ではなくて福井県立恐竜博物館の方でつくったものです。そのときにこういうふうな表現でございましたものですから、恐竜の記載をする場合には、おそらくどこどこで発見されたというのを「〇〇産」という表現で表すのではないかなと思います。

波佐間清(教育長)

よろしいですか。ほかにご質問がございますか。よろしいでしょうか。

(はい)

波佐間清(教育長)

それではないようですので報告済みといたします。

【報告事項】

下関市立図書館におけるWi-Fi設備及び情報検索機器の提供開始について

波佐間清(教育長)

次に「下関市立図書館におけるWi-Fi設備及び情報検索機器の提供開始について」お願いいたします。図書館政策課。

高森俊明(図書館政策課長)

図書館政策課でございます。よろしくお願ひいたします。「下関市立図書館におけるWi-Fi設備及び情報検索機器の提供開始について」ご説明いたします。資料の31ページをご参照ください。現在、本市下関市立図書館のインターネット検索設備の設置状況につきましては、中央図書館に有線回線を使用しデスクトップパソコンの端末を5台、そして菊川図書館に有線回線を使用しデスクトップパソコンの端末2台を設置しておりますが、それ以外の館につきましてはインターネット情報の閲覧ができない状況でございます。そこで図書館利用者の学習調査・研究を支援するために下関市立図書館全館におけるインターネット情報の閲覧を可能にするため閲覧環境の未整備の館、長府図書館、彦島図書館、豊田図書館、豊浦図書館の4館につきまして、Wi-Fi設備及びタブレット型の情報検索端末各館1台を設置するものでございます。運用開始は来月7月4日の火曜日を予定しております。以上でございます。

波佐間清(教育長)

はい。ただいま説明がございました。何かご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。いかがですか。よろしいですか。

(はい)

波佐間清(教育長)

特にないようでしたので報告済みといたします。

【報告事項】

特別展「ロシア科学アカデミー図書館所蔵 川原慶賀の植物図譜—シーボルトの見た日本」展の開催について

波佐間清(教育長)

次に、チラシの方がお手元にあるかと思いますが、最初に特別展「ロシア科学アカデミー図書館所蔵」の件についてお願いをいたします。美術館長。

岡本正康(美術館主査)

美術館でございます。美術館の特別展「川原慶賀の植物図譜—シーボルトの見た日本」展につきましてご報告いたします。来る8月5日の土曜日から9月24日までの期間でございますけれども、展覧会、お手元のチラシでございますものを開催いたします。本展覧会につきましては次の報告でもご紹介がございますけれども、下関とシーボルトという人物のつながりを紹介しつつ、美術館の展覧会の場合は江戸時代後期の美術のご紹介ということになります。今回は長崎の絵師、川原慶賀を取り上げるものでございますけれども、この方、西暦でいいますと1820年代文政年間に長崎からシーボルトが江戸に参府するにあたって随行しまして下関にも訪れております。それで下関市を写生をするというような実績がございます、どっちともゆかりのある人物ということでございます。で、この画人が描きました植物図譜と申しますものがシーボルトからロシアに譲られるというような形でございまして、現在、ロシア科学アカデミー図書館に収蔵されているというわけでございますが、そこからこのたび125点をお借りしてご紹介するという内容でございます。あわせて、国内からも川原慶賀の作品を借用いたしております。長崎県歴史文化博物館、それから個人の方などもありまして、総数でおよそ200点ほどの内容で展覧会を構成しております。植物図譜ということでございまして、博物学の世界にかかわるものでありまして、図鑑の挿絵のようなものイメージしていただければと思うんですけども、夏休みにかかっているものということもありまして、小学校、中学校の生徒さんのいろんな学習などにも関連していくようなものではないかと思っております。下関とのゆかりということとあるいは下関が地元の主要な作家として高島北海という人物もあります、こういった人物の自然科学との関わりというような事をテーマにしている美術館としては、やはりこういったものをというので、よりジャンルの幅を広げていくというものでございます。開催にあたりましては関連イベントいたしまして、博物館の職員、あるいは園芸センターの職員のご協力もいただきながらのイベントを準備しておるところでございますので、ぜひまたご周知をいただければと思っております。以上、ご報告でございます。

波佐間清(教育長)

はい。これが8月5日から9月24日までであります。「シーボルトの見た日本」ということで、川原慶賀の植物図譜。なかなか興味深いものではないかなというふうにも思います。何かございますか。よろしいですか。

(はい)

波佐間清(教育長)

それではこれについては説明済みといたします。

【報告事項】

企画展「シーボルトと下関—日蘭交流の軌跡」の開催について

波佐間清(教育長)

もう一つ。「シーボルトと下関」これの方について企画展。歴史博物館。

町田一仁(歴史博物館長)

歴史博物館でございます。先ほど美術館の岡本さんからご報告ありましたように、川原慶賀の植物図譜の美術館の展覧会にあわせて、私どもは「シーボルトと下関—日蘭交流の軌跡」という企画展を開催することにいたしました。幸い美術館の方で、この川原慶賀「シーボルトの見た日本」という展覧会がございますので、少しシーボルトと下関に関する歴史展示を博物館の方でこれにあわせてさせていただこうというものでございます。私どもの博物館が持っておりますシーボルトの資料、あるいは下関とオランダの関係を示す資料、それから長崎のシーボルト記念館から資料をお借りいたしまして、下関に特化した展覧会を計画いたしております。美術館に足

を運ばれた折には、ぜひ少し足をのばしていただいて、これ企画展でございますので大人100円の展覧会でございます。ぜひ歴史博物館の方に足を運んでいただきまして美術館の展示をさらに歴史博物館のところで深めていただければというふうに思っているところでございます。よろしくお願いたします。

波佐間清(教育長)

美術館と歴史博物館が関連をしてこういう形で、展示会、企画展をやるということでありますのでまたそのころには是非よろしくお願をしたいと思っております。何かご意見がありますか。よろしゅうございますか。

(はい)

波佐間清(教育長)

それでは報告は以上でございます。

【その他】

波佐間清(教育長)

それでは日程4その他ということですが、何かございますでしょうか。はい、松田委員さんお願いたします。

松田まさ子(教育委員)

先日、研修支援で向山幼稚園に伺ったときのお話を少しさせていただきます。9時半に集合ということで、その日は小学校5年生のお姉さんお兄さん達とのプール遊びで、幼稚園にプールはありますが、小学校の広くて深いプールの方と一緒にプール遊びということで、9時半から12時まで午前中に行われました。園児さんは今年度で最後となりますが、12人の園児さん達と小学校5年生達のふれあいを午前中ずっと見させていただきました。着替えから始まって、最後また着替え終わって、また教室に戻ってそれぞれ振り返ってみての発表もありましたが、先生の素晴らしいフォローと促しによって、園児さん達が、自分の言葉で一生懸命お話しされていました。

お昼休憩を挟んで13時半から研修、研究協議がありました。私は、今まで小・中学校には何回か行っていましたが、幼稚園に初めて伺ってみて、協議される方が8人と少なかったのと、すごく和気藹々で雰囲気が良かったので、あまりに打ち解けすぎ、少しドギマギしてしまいました。本当に、文字どおり廊下1つ隔てて繋がっている校舎で立地条件も素晴らしく、今までずっと幼小連携という形でやってこられた長い歴史の中でも、歴史はやはり人がつくるものであるもので、繋がりが薄いときもあれば濃いときもあったというお話がありました。本当に残念ながら今年度で終わりですが、という話でしたけれど、最後の協議の後に5年生達の感想文が全部私達のところに配られてきて、それがまた素晴らしく、5年生にもいろんな学びがあったようでとても嬉しくそれを読みました。

同じ敷地ではなくなるので、条件は色々変わってくると思いますが、逆に条件がそろわなくても人同士がうまく交流していればできることもあると思っていますので、今いらっしゃる先生がものすごく積極的な先生で、とてもアプローチをされており、多くの交流の行事も増えているので、とても良い形で進んでいますが、人が代わったり、条件が変わっても、先生はもちろんですけども、交流を体験できた子供達も何らかの形で生かして、幼小連携という言葉のイメージだけに先行されずに、小さなことから色々やってみてお互いが上手くいくようにできていければ良いなというのはとても強く感じました。また、そういうことに今から期待したいと思っております。以上です。

波佐間清(教育長)

はい。向山小学校の訪問についての感想を述べていただきました。ほかの委員さんで何かその

他ということで報告なり感想なりがありましたらお願いいたします。よろしいですか。

(はい)

波佐間清(教育長)

それでは、ないようですので次の日程ですが、7月は定例会につきましては7月28日金曜日午前9時半からこの教育センター、この場所で開催の予定であります。7月28日9時半から。委員の皆さんよろしいでしょうか。

(はい)

波佐間清(教育長)

それではよろしく願いをいたします。

【議案審議】

議案第35号 教育委員会及び教育機関の職員の任免について

下関市教育委員会会議規則第17条ただし書きの規定により、非公表

【閉会の宣告】

波佐間清(教育長)

それでは以上で終わります。

(お疲れ様でした)

署名

教育長

署名委員

署名委員

作成職員